

小名浜玉川町 防災まちづくり活動ニュース

平成 29 年 1 月発行 いわき市 危機管理課

「玉川町防災訓練」を実施しました！

(第9回防災まちづくりワークショップを兼ねて開催しました)

「防災まちづくりワークショップ」は、いわき市内の3地区で地域の助け合いによる防災力の向上に向けて、昨年度から全10回、今年度は2年目として5回行います。

平成28年11月20日(日)午前、住民どうしの自主的な防災活動の一環として「玉川町防災訓練」を実施し、約200名(「避難者」約170名、「運営者」約30名)が参加しました。

◎テーマ：

「経験のない大雨が降ってきた！
私たちはどうするか？」
～避難の体験を通じて、
いざというときの備えを考えよう～

◎主な訓練内容：(詳細はウラ面)

- ・大雨を想定した避難訓練
- ・玉川中学校での避難所開設訓練

◎参加者・協力者等：

玉川町にお住まいの皆さん、玉川町自治会(防災対策委員会はじめ各委員会)、西区お助け隊、小名浜生協病院、いわき市消防団第2支団第3分団、小名浜消防署、玉川中学校、小名浜地区保健福祉センター、いわき市危機管理課、コンサルタント



★ 地区住民で何度も話し合い、準備・当日運営を行いました ★

従来型の防災訓練は、市役所や消防署等の防災関係機関が企画・準備し、住民は訓練当日に見学・体験する形での参加が多いものでした。

今回の「**玉川町防災訓練**」は、これまでの「防災まちづくりワークショップ」で話し合ってきた「まちの課題」、「これまでの取り組み」に基づき、いざというときに住民どうしで行動できることを目指し、**地区で企画・準備**してきました。また、訓練当日は、会場準備や避難誘導等を役割分担し、**地区が主体で運営**しました。



【上】訓練1週間前の住民どうしの役割分担の確認
【中】訓練開始直前の「訓練参加の呼びかけ」車両巡回
【下】訓練当日の住民による司会進行

★ 「玉川町防災訓練」(11月20日)の実施状況 ★

①訓練開始：避難勧告の発令



防災広報塔より、大雨による避難勧告をアナウンス
各区長・組長等では、避難勧告の情報伝達を実施

②避難訓練：地区内各所で冠水被害



地区内各所に、大雨による「冠水」看板を設置し、避難の際の迂回の誘導を実施

③避難所開設訓練：玉川中学校



行政区ごとでの避難者の受付(安否確認)約170名が「避難」



照明、間仕切りテント等の防災資機材を用いた避難所設営の実践



小名浜生協病院の協力による血圧測定(健康管理)



防災備蓄食糧(アルファ米)の調理
これに加え、自治会独自でも「いも煮」を実施



玉川町地区での防災上の課題、防災まちづくり活動に関する講話
これに加え、小名浜消防署からも各種防災対策の講話を実施



避難生活時の物資が不足した場合を想定した、紙食器づくり体験

防災まちづくりワークショップの予定

次回【1月21日】は、地区防災計画をとりまとめます。

【お問い合わせは下の連絡先まで】※どなたでもご参加いただけます。

1月21日(土) 午前10時~正午	○地区防災計画案の作成 ○今後の活動計画の検討
今年度内	今年度内に市防災会議へ計画案を提案し、地区防災計画を確定・公表

◆防災まちづくり活動支援事業に関するお問合せは



いわき市総合政策部危機管理課：植野(うえの)、藁谷(わらがい)
(電話 22-7551(直通))